

2歳児クラス 7月 第3回 「うんちしたのはだれよ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> ページをめくる際に、「次はどんな動物かな？」と期待感を持たせて進行する。 「うんち」が落ちる時の「ピシャッ・ポトン・ゴロン」などの表現をリズムカルに楽しみながら進行する。 お話を読んだあとにいろいろな動物の「うんち」を確認しながらお話を振り返り<活動①>につなげる。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) モグラカード ※だいたい切りして裏にパ°フサト用棒を付けても良い 	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：モグラカードを持ってぶんぶん怒りながら登場。 講：「あれ？モグラさんどうしたの？」 保：「もーやんなっちゃう。私の頭の上にうんちした人はだれ？先生？」子どもたちにも同様に尋ねる。 講：「みんなはちゃんとトイレでしてますよ」「あたまの上なんかにしたの誰かな？」と会話。 保：「ぶんぶん！ぜったいに犯人見つけるわ！」と言いながらお話に入っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 怒りながらモグラカードを持って登場。講師と会話する。 	 

がくしゅうタイム

活動①	ねい 記憶	お話を思い出して正しい方に○ができる	
設問	ウサギのうんちはどちらですか。正しい方に○をつけましょう。		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講：「いろんな動物さんのいろんなうんちが出てきたね」 保：「博士からのお届け物です」とプリントの入った封筒を届ける。 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「なにかかな？」封筒の中を覗き「お手紙が入っているよ」とプリント提示。子どもたちにも配布。『ウサギのうんちはどちらですか。正しい方に○をつけましょう』だって」うさぎさんのうんちどんなかたち？ころころ？もぐらくんの頭に乗ってたようなふっくらうんち？」プリントの絵と共に子どもたちと確認。 ※不安な子が多いクラスは先に絵本で確認しても良い。質問の意味を理解して自信を持って○できることがこの時期は大切。 保：クレヨン配布。 子：間違えても良い。正しい方にクレヨンで自信を持って○をする。 ※「〇〇色のクレヨンで」と色の指示を入れても良い。 絵本を見て正解を確認。 「はなまる」やスタンプなどで賞賛。プリント回収。 		保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 封筒を届ける。 プリント配布 クレヨン配布 賞賛
活動②	ねい 巧緻性	折り紙で▽を折ることができる	
設問	折り紙で「いぬ」のかおを作りましょう。		教材
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 保：「今日は大好きなお友だち連れてきたんだ」とプリント提示。 		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 保：「大変！お顔が消えてる。どうしよう？」とプリントを講師に渡す。 講：何の動物か(いぬ)、どうしたらいいか？子どもから言葉を引き出してみる。 講：「そうだね、大丈夫直してあげる」「いいこと考えた」と折り紙提示。見本行動。 ①口を◇の方向に置き直す ②下の角を上の方に向かって持ち上げてぴったりと合わせ△型半分に折る ③折山「アイロン！」と押さえる見本をしっかりと見せる ④プリントの▽を確認し、△に折った折り紙を「くるくる」回してプリントの▽に「ピッタンコ」と貼る ⑤顔をクレヨンで描く 講：「みんなも作って直してあげる？」意欲を引出し折り紙とプリントを配布。 子：見本と同様に折り紙を折り、貼れた子からクレヨンで顔を描いていく。 ※△の角と角を合わせるところや折山のアイロンはまだまだ繰り返しが必要な活動です。状況に応じて講師、保育士で補助をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ★クレヨン 皿 (テープごみ用)

<ul style="list-style-type: none"> • 完成した犬を皆で見せ合いつこ。賞賛。 • ♪リズムに合わせて机の上でお散歩を楽しむ。 • 講：「なになに？犬さんお腹空いたんだって」 ※このままの活動で<数のチャレンジ>へとつなげる。 	<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> • プリント、折り紙配布 • △折り補助 • ゴミ用皿配備 • 賞賛 • エレピ演奏
--	--

<p style="text-align: center;">数チャレンジ</p>	<p style="text-align: center;">数</p>	<p style="text-align: center;">リンゴの数（3こ）を数えましょう</p>	<p style="text-align: center;">教材</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">設問</p>	<p style="text-align: center;">リンゴの数「3こ」を数えて（P2の）「いぬ」にあげましょう</p>		<p>P2 P2用リンゴシール 一人3枚 皿（シールごみ用）</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 講：「何か良いものないかな？」 • 保：「ありますよ」リンゴシール提示。 • 講：「ください」の意思表示をして受け取り。「ありがとう」のことばも忘れない。 • 子：講師同様にシールを受け取る。 • 講：「りんごいくつあるかな？みんなで数えてみよう。（ひとつずつ指さして）いち・に・さん。全部で3こ」と確認後、見本行動。折った犬の▽下の角を開いて口に見たて「お口の中に1・2・3。全部で3こ。はいどうぞ」と貼っていく。 ※状況に応じて「リンゴの木」から「3こ」取らせても良い。 • 子：見本同様、口の中に貼っていく。 • 講：「犬さんもぐもぐ良くかんで」などと折り紙を動かす。「犬さん美味しいってよろこんでる。良かったね」と賞賛。プリントを回収して終了する。 		<p style="text-align: center;">保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> • リンゴシール提示 • リンゴシール配布 • シールごみ用皿配備 • 賞賛 • プリント回収